

# 伊方町農業支援センターだより

Farmers' Communication Magazine For IKATA Member's

## 期待の新品種

### 愛媛果試第48号 (紅プリンセス)!



写真2 愛媛果試第48号の果実(みかん研究所)



写真1 愛媛果試第48号の樹姿  
(みかん研究所)



写真3 愛媛果試第48号の結果状況  
(みかん研究所)

48号は品種育成過程において、1次選抜、2次選抜の厳しい競争を勝ち抜いて、48番目に愛媛番号が付与された品種です。現在は54号まであります。愛媛番号が付与されても品種登録されたのは、48号を含めて9品種だけです。この中には、皆さんが知っている「愛媛果試第28号(紅まどんな(商標)):愛媛28号」、「甘平:愛媛34号」、「媛小春:愛媛32号」、「ひめのか:愛媛29号」などがあります。

48号は2005年に交配してから、16年目の2021年度に品種登録ができる予定です。

48という数字で思い浮かぶのが、AKB48です。「365日の紙飛行機」などヒット曲がたくさんあります。この新品種もブレイクする予感が…… (2ページへ続く)

## CONTENTS

1. 表紙 愛媛果試第48号の果実
2. かんきつ新品種「愛媛果試第48号」について
3. 温州・中晩柑の価格推移について
4. 伊方町地域おこし協力隊(農業振興)新隊員着任!
5. 「佐田岬半島の母さんのご馳走」～次世代に残したい味～
6. 「加工品を活用した柑橘PR」伊方地区青年農業者協議会
8. ニューフェイス紹介

伊方町イメージキャラクター

サボンディー



No.32

企画発行/伊方町地域担い手育成総合支援協議会 (伊方町農業支援センター内)

〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-1

伊方町役場本庁2階 伊方町農業支援センター内

TEL (0894) 38-0211 FAX (0894) 38-1373

◆瀬戸・三崎地域の受付窓口◆

瀬戸支所地域住民室 TEL (0894) 52-0111

三崎支所地域住民室 TEL (0894) 54-1111

# かんきつ新品種 愛媛果試第48号について

## 1. 交配：愛媛果試第28号×甘平

愛媛県が育成した高級かんきつ同士の交配です。皮が薄く、とろけるような食感の紅まどんなとシャキッとした独特の食感と濃厚な食味が特徴の甘平が親です。

## 2. 品種概要：樹姿、果形、種子の有無 etc

樹姿は、直立型と開張型の間程度で、樹勢は中程度です。とげは最初ありますが樹が落ち着けば少なくなります(写真1)。

果実の形は短卵形で果形指数(横径/縦径)は106程度で「おむすび」のような形が特徴です。果実の大きさは250gで、果皮の色は赤みの強い橙色です。果皮の厚さは薄く剥きやすく比較的丈夫で、種子はありません(写真2)。

クラッキングはほとんど発生しません。日焼け果と裂果については、多少発生がみられますが、栽培に支障がでるほどではありません。隔年結果性は低いです(写真3)。

## 3. 食べごろ：糖酸の推移、販売時期

糖度は成熟期の3月上旬に13~15度(Brix)程度に上昇し、樹上におくほど増加します。クエン酸含量は2月下旬~3月上旬に1.0g/100ml程度になりその後、横ばいになります。

紅色のかんきつが少なくなる3月下旬~4月の販売に、高い商品価値が期待されます。

## 4. 産地化のための苗の供給

農家のところに苗が供給できるのは、2022年(令和4年3月)からになります。県と許諾を結

んだ」A等で農家自身が判断(食べてみる、栽培現場を見る、自身の経営内容の再検討等)してください。

本格的な果実販売が開始されるのは、2025年(令和7年3月)の予定です。

## 5. 商標登録：紅プリンセス

「紅まどんな」から生まれた娘「プリンセス(王女)」として、誰からも愛される存在になるようにとの思いを込めて商標登録を行っています。

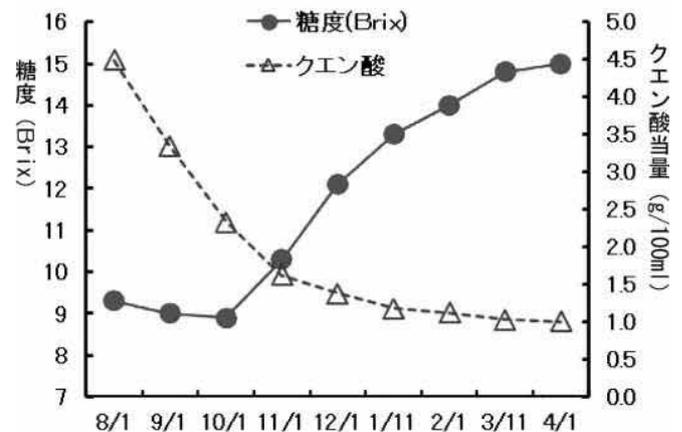


図1 糖度・クエン酸当量の推移 (H27-R1 平均 みかん研究所)

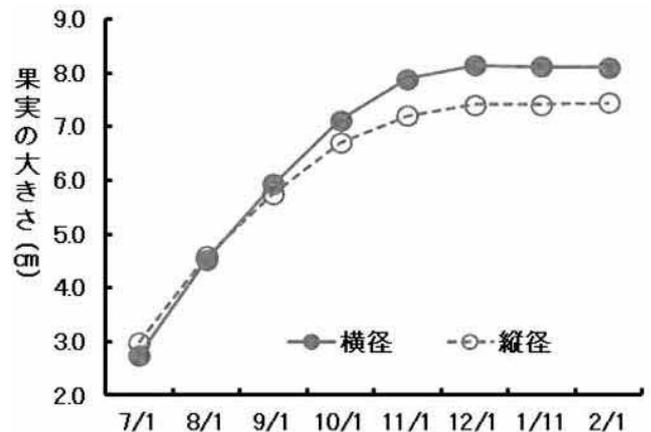


図2 果実の肥大状況 (H27-R1 平均 みかん研究所)

交配による新品種の登録までには**長い年月**がかかります。かんきつでは過去の調査から4万本に1本の割合で**枝変わり**が発見されると言われています。みなさんも自分の園地で眠っている**優良品種(枝変わり)**を発見してみませんか。

※J Aにしうわ、八幡浜支局地域農業育成室、みかん研究所に連絡してください。

八幡浜支局地域農業育成室

# 温州・中晩柑の価格推移状況

この各表は、南柑20号・伊予柑・太田ポンカンの伊方共選の各取引市場(12月中旬～1月下旬)でのレギュラーの平均相場と出荷量を示したものです。昨年対比で、出荷量は少なめながらも平均単価は、昨年並みで推移しています。今後の甘平、せとか等の出荷量及び価格については、コロナウイルスや寒波被害の影響により昨年を下回る見込みです。

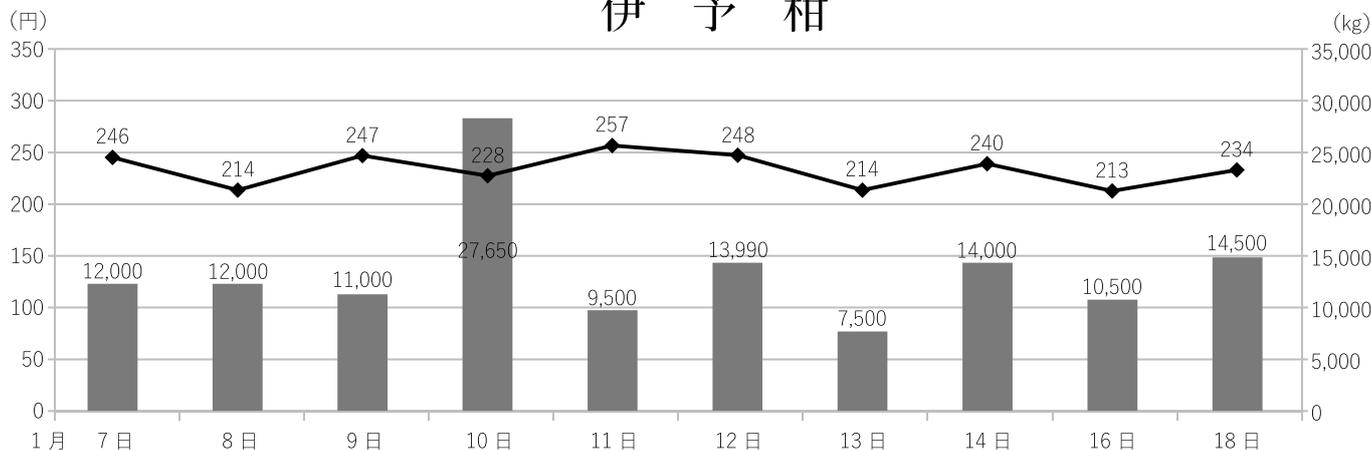
## 平均相場と出荷量

◆ 平均相場 (円)  
■ 出荷量 (kg)

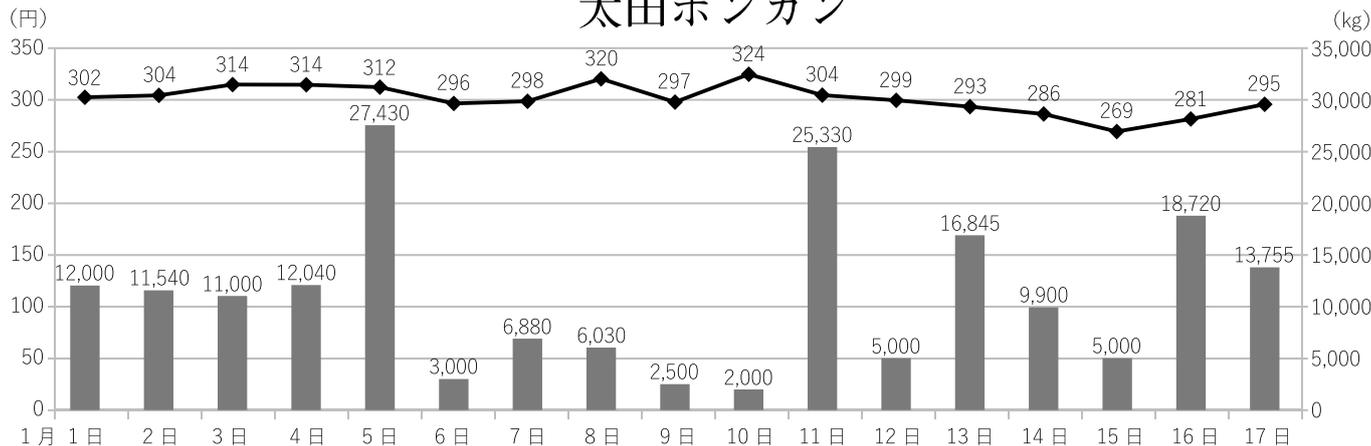
### 南柑20号



### 伊予柑



### 太田ポンカン



# 地域おこし 協力隊に 就任しました！



初めまして、1月から地域おこし協力隊になった伊勢典昭（いせのりあき）です！担当は、農業振興（鳥獣被害対策）で、主に農業被害や住宅地に出る野生鳥獣を減らす業務に就きます。

住民の皆さんが主役で僕はそのお手伝いをします。私は狩猟を今年度から始めたので、皆さんの方がイノシシやタヌキ、ヒヨドリ等に詳しいかと思います。僕の役割は、外部で講習を受けて皆さんにお伝えしたり、一緒に捕獲、防除(柵等)、環境管理（刈り払い等）をしたり、よそ者だからこそ出来る常識外れの対策を提案したいです(笑)

そしてジビエ！猪肉は捕獲～調理をしっかり行えば美味しいです！日本でも海外でもジビエは昔から食べられています。捕獲した鳥獣は山の恵みとしてありがたく頂きます。私は命に向きあいたいし、自分で食べる命に責任を持ちたいです。そして伊方町で捕獲した鳥獣を食べる仕組みを作りたいです。ビジネスか、営みか、教育か、もっと新しい形か。伊方町にとって良い形を考えていきます。今は料理初心者ながら頑張って料理しているので、色々落ち着いたら皆さんと一緒に作りたいです。捕獲したイノシシやタヌキ等を解体して食べたいという方がいましたら、是非、農業支援センターまでご連絡下さい。修行の身ではありますが頑張って解体します。

他にも鳥獣被害対策の一環として、骨や毛皮の活用、刈り払いや木の活用、耕作放棄地活用等、色々チャレンジしたいことがあります。

私は研修期間として11月、12月を伊方町で過ごし、わなの設置やイノシシの解体を地元猟友会の方々に教えて頂きました。他にも色々な方にお世話になりました。私が今ここにいるのはその人達のお陰です。私が恩返し出来る事は何か、いつも考えています。答えはまだ見つかりませんが、この先も一緒に過ごしていきたいです。

10年先を見据えた伊方町の町作りを皆さんと一緒に考えたいです！よろしくお願ひします！



イノシシの焼肉



# 加工品を活用した 柑橘PR

## 伊方地区青年農業者 協議会活動紹介



伊方地域の青年農業者で組織する「伊方地区青年農業者協議会」では、毎年テーマを決めてプロジェクト活動に取り組んでいます。

今年度のテーマは「加工品を活用した柑橘PR」です。昨年度は自分たちで搾汁したジュースを活用し「ラグビーワールドカップ」開催に合わせて東京でPRを行いました。今年度はジュースに加えて「せとか」を使ったク

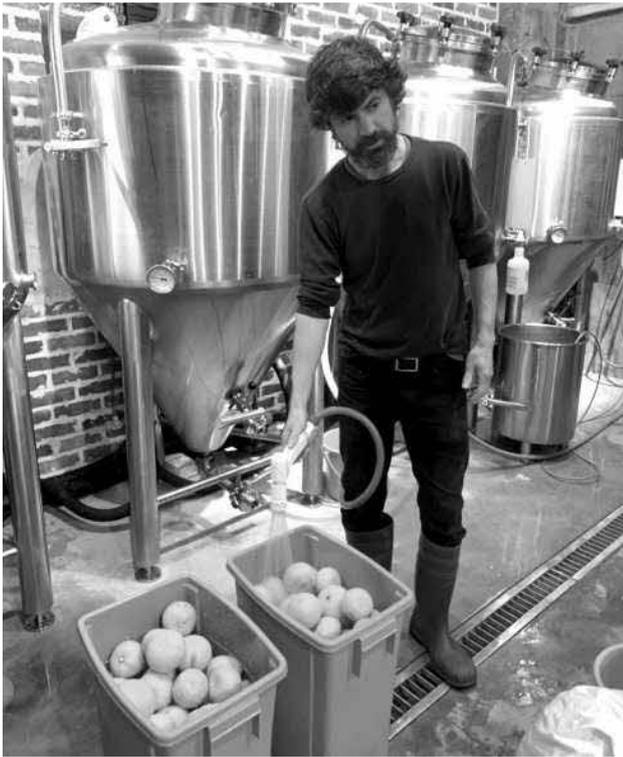
ラフトビールを製作し、PRを行おうと考えました。「せとか」を選定した理由は、香りが強く、あまり「せとか」を使ったビールを聞いたことがなかったからです。

昨年3月に会員から「せとか」を80kg集め、松山市にあるクラフトビール醸造所「DD4D BREWING」へと搬入し製造を依頼しました。この醸造所は様々な柑橘を使ったクラフトビールを過去にも製造しており、今回の依頼についても快く承諾いただきました。ビールのラベルデザインは知り合いのデザイナーに依頼し、おしゃれなデザインに仕上がったと思います。ビール瓶770本への貼付けも自分たちで行いました。慣れない作業に苦戦しながらでしたが、少しでも製造費を抑えるため、会員一丸で取り組みました。そして4月末について、「せとか」を使ったオレンジサワーエールが完成しました。サワーエールとはビールの種類の1つで、ビール酵母以外の乳酸菌等を併用することで、特徴である酸味を引き出しています。甘味と酸味がマッチして香りの良いビールに仕上がりました。

このビールと搾汁したみかんジュースを活用し様々なイベントや首都圏でPRを行う予定でしたが、コロナウイルスの影響で各種イベントの中止や、首都圏への移動が難しい情勢となってしまいました。しかし、この状況



協議会で製作した「オレンジサワーエール」と「みかんジュース」



ビール製造の様子

でできることをやろうと模索した結果、6月21日に5月にリニューアルオープンした佐田岬はなはなで「伊方みかんジュース&ビールフェア」を開催しました。ビール瓶での製造と合わせてサーバー用の樽も製造しており、カップに注いで販売を行いました。みかん蛇口を役場から借りて、蛇口からでるみかんジュースとして1杯100円で販売を行いました。佐田岬はなはなは、リニューアルしたばかりで来場者も多く、多くの方にジュースとビールを味わっていただきました。イベント開催前には、愛媛新聞の取材を受け掲載されていたこともあり、珍しい「せとか」のビールに興味を持っていただくことができました。当初は、このような県内外のイベントに出店し販売を行いながらPRを行う計画でしたが、実施できたのは町内で行ったこの1回のみとなり、残りのビールをどうするか検討しました。ビール製造をお願いした「DD4DBREWING」の協力を得て、自社サイトでのインターネット販売を行っていただきました。また、佐田岬はなはなにあるカフェ「木と樹」や道の駅「伊方き

らら館」へビールを卸していただき、町内での販売にも繋げることができました。こうしたご協力により、当初製造していたビール全てを販売することができました。協力いただいた皆様ありがとうございました。

協議会では、こうした取り組みの他に「東大みかん愛好会」との交流も深めています。昨年度の東京でのPRから交流が続いており、今年度も東京でイベントを行う際は一緒に活動していただく予定でしたが、残念ながら実施とはなりません。また、昨年3月には春合宿として来町していただく予定だったのですが、コロナウイルスの感染拡大により実現には至っていません。状況が落ち着いたら、伊方町での合宿を実現させたいと思っています。東京と伊方町の直接の往来は難しいことから、初めてオンラインでの交流会を行いました。会員と愛好会の新入生を中心に、柑橘栽培のことや協議会の活動を紹介し、柑橘について意見交換を行いました。「東大みかん愛好会」はSNSを中心に若い世代へみかんの普及活動を行っています。この発信力を活かし、伊方町の柑橘もPRしていけたらと思います。

これからも、若い力と柔軟な発想力で様々なことにチャレンジしていきますので、当協議会の今後の活躍にご期待ください。

6/21 伊方みかんジュース&ビールフェア  
(佐田岬はなはな)

# NEW FACE

就農して5年以内の新規就農者をご紹介します！



おおくぼ さとし  
**大久保 聡俊** さん(39歳)  
れいか  
**玲香** さん(32歳)

就農地：伊方町大江  
就農年：令和元年

## ①就農のきっかけは？

自分の力を試してみたかった

## ②農家に対するイメージは？

おじいちゃん、おばあちゃんが作業しているイメージ

## ③今後の目標は？

倉庫を建てる

## ④伊方町に望むことは？

これからも農業に対するサポートをお願いしたい

## ⑤活用助成金

農業次世代人材投資資金（国補助） 夫婦型



わき た のぶひさ  
**脇田 修喜** さん(39歳)

就農地：伊方町二見  
就農年：令和元年

## ①就農のきっかけは？

義理の父親が農業をされており、興味をもったから

## ②農家に対するイメージは？

作業が自然環境に左右されるため、とても難しい仕事だと思う

## ③今後の目標は？

高品質な品種を取り入れ知識や技術のレベルアップをしていきたい

## ④伊方町に望むことは？

特になし

## ⑤活用助成金

農業次世代人材投資資金（国補助）



まつざわ ゆうや  
**松澤 祐耶** さん(38歳)

就農地：伊方町名取  
就農年：令和2年

## ①就農のきっかけは？

地場産業であるかんきつ栽培に興味があった  
(就農支援制度のおかげで就農できた)

## ②農家に対するイメージは？

体力的に大変な部分はあると思うが、周りの農家さんはとてもイキイキとしている

## ③今後の目標は？

自信をもって出荷できるものを作っていきたい

## ④伊方町に望むことは？

新規に就農できる今の支援体制を維持していただきたい

## ⑤活用助成金

農業次世代人材投資資金（国補助）